

# 休校延長になりました



お子さんは、長い休校期間、ご家庭でいかがお過ごしでしょうか？学校に行けない日々、外出自粛の日々は、生活のリズムが崩れたり、不安が募ったりと不安定な状況になっていることと思います。登校した数日の子どもたちの様子は、本当に笑顔が多かっただけに、職員一同、みんな元気になっているだろうかと大変心配しています。

先生たちは休校中、何をしているのだろうか？と疑問をお持ちの方も多数おられると思います。今日は、休校中の学校の様子、先生たちの様子をお知らせします。

# 菊陽西小だより

5月

NO.4  
R2. 5. 8  
菊陽町立  
菊陽西小学校  
文責：草場ルミ子

## 登校者の

数日前、帰宅しようとして西門から車を出してしまいました。ちょうど道の向こうに数人の子どもたちが通りかかれました。車の窓から手を振ると、大きく手を振り返してくれました。なかなか車が途切れませんでした。ずっと手を振りました。子どもたちもずっと手を振ってくれました。とてもうれい出来事でした。いつもだったら、当たり前前の光景が、今は当たり前じゃない。いつになつたが、これまでの生活に戻ることができているのか、誰も分からない。つらい日々ですが、きつと「あんなこともあつたねえ。大変だったねえ。」と笑って話せる日がありました。もうしばらく、みんな頑張って頑張りましょう。

## これまでの流れ

- 3月2日～3月15日休校
- 3月11日、春休みまで休校延長発表
- 休校中の3月23日修了式、3月24日卒業式、3月27日退任式を実施
- 4月1日付で人事異動。西小の新しい先生たちがそろいました。
- 4月不安の中、4月8日就任式・始業式 4月9日入学式（このことについては、菊陽西だより NO 2～3に書きました。）
- 感染予防に最大限の注意を払いながら、4月10日、13日は終日、14日の午前中までは授業実施。14日の給食後から再び5月6日まで休校となりました。
- その間、特別支援学級のお子さんやどうしても家で過ごすことが難しいお子さんに関しては、8時から学童保育が始まる15時までの、学校で見守りをしています。5月7日からは、3年生以下で4年以上の兄弟がいないご家庭を基本とし、ご相談に応じる形に変更させていただきました。少しでも三密を避けるためです。見守りの子どもたちは、三密をさけるため1つの教室を10人程度の子どもたちで使用しています。（が、どうしても子どもたちは近づいていきますね。多分、おうちでも同じでしょう。）職員で交替しながら見守りをしています。図書室や運動場も使っています。



- 4月28日再度、5月31日までの休校延長が発表されました。その間、登校日はなし。（休校期間中、分散登校を実施している近隣の市町もあります。）課題の提出や受取は保護者の皆さんにお願いすることにしました。詳細は菊陽西小だより NO 5をご覧ください。
- 4月下旬、地区を4つ分けて地区毎の分散登校ができないかと考えました。（実現はできませんでしたが）授業を数時間でもできれば、渡した課題についての補充ができます。さらに、新しい課題についての大まかな指導ができるのです。地区を4つに分けると、1日あたり全校で約250人ずつ（1クラス10名弱）になります。先生たちは、同じ授業を4日連続でするという考えです。

- 地区も同じ方向からではなく、学校の北から南から西からと人数的に分散できるような地区割りを考えました。

- 結局、年度末年度初めの大きな行事は、なんとか実施したものの（今思えばできて本当によかった！！始業式や入学式ができていない学校も多数あるからです。）、新年度、登校したのは4日間、通常の授業は3日間。給食も3日間（1年生は2回）だけで、休校。

- 職員は・・・と言うと、国や県や町の方針が出るたびに、そんな中で、**子どもたちに最大限の学力保障をしつつ、感染防止をする方策**について、何度も何度も学年主任会や職員会議で話し合いを重ねています。トライシート作成やHPにアップする動画作成にも取り組んでいます。西小は職員数も多いので、換気はもちろん、各教室に分散して仕事をするように工夫しています。また、給食がなくて寂しいのは職員も同じ。今ではお弁当注文係も交替で始めました。

早く、日常の学校生活に戻る日を、子どもたちと会える日を、職員みんな、粛々と準備をしながら待っています。

## お知らせ 通級学級が開設します

令和2年度から、念願だった通級学級が開設します。菊陽西小学校が拠点校で、武蔵ヶ丘小と武蔵ヶ丘北小への訪問も行います。担当は、友田達也教諭です。お尋ね、ご相談等ありましたら、担任へご相談ください。

